

令和7年度町政懇談会議事録

- 1 日時 令和7年10月22日(水)14:00～15:04
- 2 場所 いわき市 勿来酒井集会所
- 3 出席者 伊澤町長、平岩副町長、森副町長、館下教育長、横山復興推進課長、大浦戸籍税務課長、中野農業振興課長、藤本建設課長、中里住民生活課長、志賀健康福祉課長、木幡教育総務課長、秘書広報課高橋課長補佐、建設課松原支援員(13人)

4 町民出席者 11人

5 町長あいさつ概要

今年度の町政懇談会では、町の復興状況を始め、特定帰還居住区域における立入規制緩和のほか、営農や学校再開に向けた取組状況、令和8年度町税の課税の方向性について説明し、皆さんからのご質問やご意見をお伺いするとともに、意見交換を通じて、今後の町政運営に活かしてまいりたい。

○町の復興に向けた主な取組について

1)町の復興状況について

駅東地区では、商業を中心とした賑わいを形成するエリアとして整備を進めており、役場庁舎北側の公設商業施設でイオン双葉店が8月1日にオープンした。

町体育館跡地には、公設商業施設として居酒屋・カフェ・鉄板焼きの3店舗の整備を進めており、令和8年春のオープンを目指している。町内の生活環境が大きく向上し、町に賑わいをもたらす中核になるものと期待している。

駅西地区では、良好な住宅地を形成するエリアとして整備を進めており、昨年6月には、えきにし住宅全86戸が完成し、現在75戸に入居されている。今後は、えきにし住宅の西側にある町有地で造成工事等を進めており、住宅の分譲地を想定した利活用を進めていく。

通所・訪問介護サービス等の提供を目指した「複合的福祉サービス拠点」の整備を令和9年度の開業に向けて進めており、昨年2月に開所した双葉町診療所とともに、皆さんの関心が最も高い医療・福祉分野を更に充実させていく。

2)住宅の確保について

昨年度から町内の住宅再建を促進するため、住宅の取得・修繕等に係る費用のうち、福島県の支援策と併せて、新築住宅の取得で上限800万円、中古住宅の取得または修繕等で上限300万円を補助している。

町の現住人口を更に増加させるため、本年6月に町内への民間賃貸住宅の誘致を目的とした建設費補助制度を創設し、申請の受付を開始している。

今後とも町内の居住人口の増加に拍車がかかるよう、住宅の確保に努めていく。

3)特定帰還居住区域について

通行証の申請や所持がなくとも特定帰還居住区域に立ち入りが可能となる「立入規制緩和」について、下長塚、三字、羽鳥行政区の対象区域においては、令和7年11月4日に実施する方向で調整を進めている。「立入規制緩和」が進むことは、特定帰還居住区域の避難指示解除に向けた大きな前進であり、下長塚、三字、羽鳥行政区の対象区域において、令和8年度内の避難指示解除が実現できるように今後も取り組んでいく。

昨年12月から実施している第2回目の帰還意向調査の結果を踏まえて、特定帰還居住区域の見直し作業も進めている。

国が示した「2020年代をかけて帰還意向のある住民が帰還できるように避難指示解除の取組を進めていく」という方針を実現できるように今後とも国や関係機関との協議を進めていく。

4)営農再開の状況について

避難指示が解除された下羽鳥・長塚地区のほ場整備事業、上羽鳥の基盤整備事業、中田地区の養液栽培施設整備事業など、各地区におけるハード整備が着実に進捗している。

水稻の実証栽培を長塚字谷沢町や新山字天王下地内で実施しており、出荷制限の解除に向けた取組も進めている。

今後は、農業の基盤整備と担い手への集積を通して、営農再開に向けた取組を加速させる考えであり、営農する個人や法人への支援制度の創設を検討していく。

5)町内の学校再開について

昨年度に「双葉町新学校施設整備基本計画」を策定し、「認定こども園・義務教育学校」を令和10年4月に開園・開校することを決定した。現在は、施設整備の基本設計を進めているところであり、町民の皆さんも利用することを想定した地域に開かれた学校、子供たちと共に学ぶことができる新たな学びの場を創設することを目指している。

カリキュラムについては、0歳から15歳までの保育・教育に対応し、幼少期から外国語や異文化に親しむ活動を取り入れるなど、特色がある学びが展開できるように検討を進めている。

6 説明

- (1)町の復興状況について (横山復興推進課長)
- (2)特定帰還居住区域の立ち入り規制緩和について (中里住民生活課長)
- (3)特定帰還居住区域復興再生計画の改定について (中里住民生活課長)
- (4)営農再開の状況について (中野農業振興課長)
- (5)学校再開の取組について (館下教育長)
- (6)令和8年度町税の課税の方向性について (大浦戸籍税務課長)

7 懇談

(羽鳥 男性)

最近、各地でクマが出没しており、双葉町でも細谷、石熊でクマを見たと聞いている。町としてどのような対応を考えているのか。

(中野農業振興課長)

クマについては、今年に入って町内で5回ほど目撃情報があり、昨日も石熊に出没したとの報告を受けたが、痕跡を見つけれないため、イノシシの可能性もある。実際に4月の段階で、大熊町でツキノワグマがくくり罠に捕まっていた事例があるので、一概にいないとは言い切れない。町の対応としては県道35号線、井手長塚線にクマの注意喚起の看板を立てている。実際の対応は、人身への危険度が高くなった時にどうするかという話になってくる。マスコミで報道されている緊急銃猟は、野生動物の被害が住民に及ぶ危険性が高い場合に、市町村長の判断でハンターに頼んで処分すること。条件がかなり厳しく、特に街中だと跳弾が住宅や通行人に当たってしまうことを考慮して、安全が担保されなければ撃てない。そのため原則追い払いという対応になると思う。それについては現在猟友会と調整している。猟友会員も避難先からすぐに町に来られるわけではないので、いかに危険な状況を短くするかが重要になってくる。有事の際には警察と担当課の判断になってくるので担当課と調整を行う。

(中里住民生活課長)

住民生活課としてもクマが目撃された場合、警察等から情報を得たら、町の防災無線でどの地区にクマが出たという情報を発信している。連動して、町のホームページで熊の目撃情報を掲載しているので確認していただきたい。また、防災アプリ等を利用して、スマホでも確認できるよう情報を流すので、町を訪問する前に情報確認をお願いする。不明点等あれば、農業振興課、住民生活課で対応する。

(長塚二 女性)

公衆トイレについて、イオンや、コミュニティーセンターが完成すると状況が変わってくると思うが、役場が開いていない時に使う駅のトイレが一つだけで狭いので、以前から何をしても不便という話は聞いていた。以前は体育館前や新山に公衆トイレがあったが、今はすべて無くなっているので、駅近辺でコミュニティーセンターの中ではなく外にトイレを設置する予定は無いのか。

(横山復興推進課長)

公衆トイレは駅のトイレとイオン双葉店のトイレがあり、イオンは公設商業施設なので、営業時間内は利用客以外の方も使用できる。

(長塚二 女性)

他にトイレを設置する予定は無いのか

(横山復興推進課長)

駅前周辺はコミュニティーセンター開設に併せてになる。

(長塚二 女性)

イオンと役場以外には無いということか

(横山復興推進課長)

そのとおり。

閉会 15時04分